

平成22年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

教 育 課 程 部 会

実 施 案 内

主 催

財団法人日本私学教育研究所

後 援

日本私立中学高等学校連合会

◆(研究のねらい)◆

新学習指導要領と私学の理念

私立学校専門研修会・教育課程部会では、今回改訂された学習指導要領に対して、私学としてどのような信念を持って対応していけばよいのか、また次回の学習指導要領改訂の際には私学としてどのような意見を持って臨むべきかを、日本私立中学高等学校連合会および日本私学教育研究所役員、各私立中高校理事長・校長だけではなく、広く教務担当あるいは一般の先生方の意見も伺いながら研究していくことを目標とします。

第1回目となる今回の研修会では、まず基調講演で新教育課程に対する私学の理念を学び、その後、参加された先生方のディスカッションにおいて、今後の取り組むべき課題について協議・意見交換を行っていただきます。

また、将来(次回)の学習指導要領の改訂時に、文部科学省に、私学全体で意見・要望ができるよう、多くの私学関係者・教職員に教育課程に関して学んでいただきたいとの考えから、国内だけではなく、諸外国の教育についての講演をお聞きいただきます。

教務担当のみならず、多くの一般の先生方の参加をお待ちしております。

◆(会 期)◆ 平成22年11月2日(火)

◆(会 場)◆ 私学会館(アルカディア市ヶ谷)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL03-3261-9921

※研修会に関するお問い合わせは、日本私学教育研究所(電話03-3222-1621)にお願いします。

◆(募集人員)◆ 100名

◆(参加資格)◆ 教務担当及び一般の教員

◆(基調講演)◆ 演 題 「私学の存在意義と私学教育の独自性」

講 師 結 城 忠(白鷗大学教育学部 教授, 国立教育政策研究所 名誉所員)

講師プロフィール 結城 忠(ゆうき まこと)

1944年生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。国立教育研究所研究員・主任研究官・室長、ドイツ国際教育研究所客員研究員、国立教育政策研究所総括研究官、上越教育大学大学院学校教育研究科教授を経て、現在、白鷗大学教授。教育学博士。前日本教育行政学会会長。国立教育政策研究所名誉所員。主要著書に『生徒の法的地位』(教育開発研究所、2007年)、『教育の自治・分権と学校法制』(東信堂、2009年)、『教育法制の理論』(教育家庭新聞社、1988年)、『学校教育における親の権利』(海鳴社、1994年)、『岐路に立つ教育行財政』(共編著、教育開発研究所、1990年)、『ドイツの教育』(共編著、東信堂、1998年)、『ドイツの学校と教育法制』(監訳、教育開発研究所、2004年)、『学習塾—子ども・親・教師はどう見ているか』(共著、ぎょうせい、1987年)、『教育法規重要用語300の基礎知識』(編著、明治図書、2000年)等。

◆**報 告**◆ テーマ 「学習指導要領に関する現在の状況—中高連・日私教研からの報告—」

講 師 中 川 武 夫 (財団法人日本私学教育研究所 所長)

現在、過去に中高連・日私教研が取り組んだり、取り組んでいる課題や文科省等に対する要望について、あるいは、将来取り組んでいかなければならない課題について、同役員だけでなく、私学の校長・一般の教員等にも報告の機会を設け、今後、私学の教育課程は私学全体でつくっていくための礎となることを目的とする。

◆**講 演**◆ 演 題 「フィンランドの教育課程とOECDの構想」

講 師 福 田 誠 治 (公立大学法人都留文科大学 副学長,
文学部比較文化学科 教授)

講師プロフィール 福田誠治 (ふくだ せいじ)

1950年生まれ、都留文科大学副学長、比較文化学科教授。研究テーマは「人間形成論」、教育哲学/比較文化専攻。ソビエト教育学を一貫して研究。とりわけ、1920年代の新教育の理論をテーマとした。近年は、ソビエト・ロシアおよびヨーロッパの教育分野における民族問題、とりわけ言語権について研究してきた。2005年以降、フィンランドの教育を集中的に研究しており、毎年2回ずつ訪れている。また、文科省の科学研究として、この3年間は中央アジア諸国の教育調査に赴いている。研究成果は、国際機関の教育戦略に関するもの(日本教育学会)、北欧の教育制度・教員養成などに関するもの(比較教育学会)などが公表されている。

著書には、『競争やめたら学力世界一』『競争しても学力行き止まり』(ともに朝日新聞出版社)、『格差をなくせば子どもの学力は伸びる』『フィンランドは教師の育て方がすごい』(ともに亜紀書房)、『子どもたちに「未来の学力」を』(東海教育研究所)などがある。

講演概要

—フィンランドの教育課程と国際機関の教育戦略—

この15年くらいの世界のルールは、あらゆるサービスは個人が選択し入手するものという解釈に傾いている。教育や福祉もこの例外でない。国民形成という国家利益の追求を目指した教育の国家管理ではなく、諸能力の獲得という教育目的を市場に委ねるという考えである。そうなると、学校に子どもを合わせるのではなく子どもに学校を合わせる、教師は正解を一律に教えるのではなく一人ひとりの子どもの学習を支援するという方向に転換することになる。経済協力開発機構(OECD)はすでにこの方向に踏みだし、国際学力調査 PISA を開発し、世界の教育を誘導しつつある。その優等生がフィンランドである。フィンランドは社会構成主義をとっていると国家教育委員会が公的に発言しているが、16歳まで他人と比べるテストが無く、自分のために学ぶ教育が家庭でも学校でも追求されている。

◆**研究協議**◆ (グループ・ディスカッション)

テーマ 「新学習指導要領と私学の理念」

※8名程度のグループに分かれ、テーマについて協議・意見交換を行います。

※グループ分けの参考にいたしますので参加申込書のアンケートに必ずご回答ください。

◆**ま と め**◆ 「研修会の総括」

(閉会式にて)

清 水 哲 雄 (学校法人鷗友学園 常務理事,
東京私学教育研究所 所長)

◆**基本日程**◆

11 月 2 日 (火)	9	30	10	11	30	12	30	13	30	14	15	16	30	17
	受 付	開 会 式	基 調 講 演	昼 食	報 告	講 演	グ ル ー プ ・ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	閉 会 式						

◆**講師・指導員(順不同)**◆

結 城 忠 (白鷗大学教育学部 教授)

福 田 誠 治 (公立大学法人都留文科大学 副学長・文学部比較文化学科教授)

中 川 武 夫 (淑徳巣鴨中学高等学校 校長)

◆**専門委員・指導員(順不同)**◆

清 水 哲 雄 (学校法人鷗友学園 常務理事)

助 川 幸 彦 (芝中学高等学校 校長)

山 本 与志春 (青山学院中等部 部長)

大多和 聡 宏 (開星中学高等学校 理事長・校長)

鈴 木 秀 一 (財団法人日本私学教育研究所 事務局長)

参加申込み方法

- 1) 申込 次ページの「参加申し込みの注意」をよくご覧になったうえでお申し込みください。
- 2) 申込先 「財団法人日本私学教育研究所 私立学校専門研修会 教育課程部会担当」宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>
(平成22年5月17日より上記の住所に移転いたしました。)
- 3) 申込締切日 平成22年10月22日(金) 必着
申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

参加費 20,000円(昼食費を含む。)

参加確認証 参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示ください。

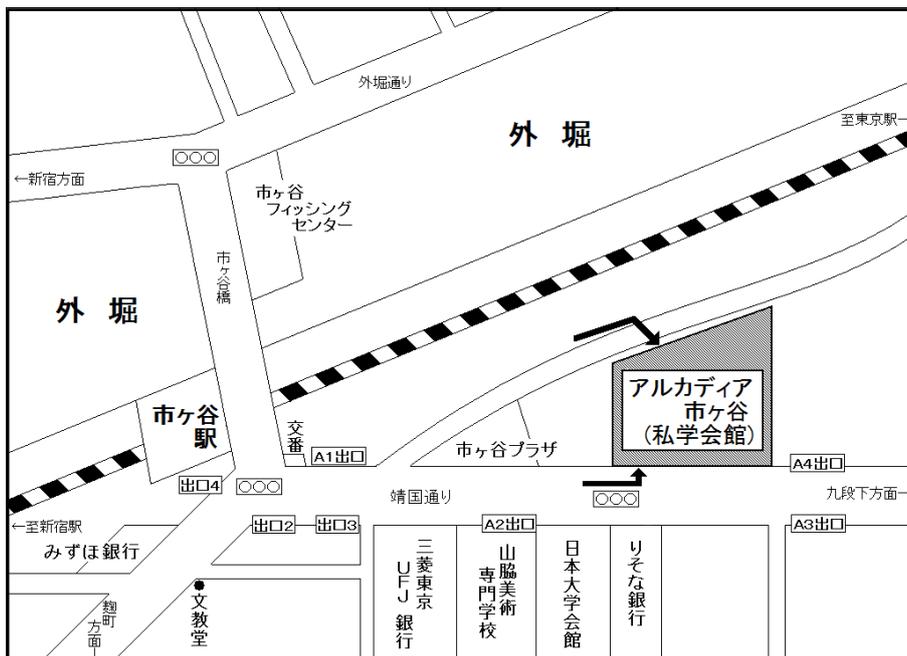
個人情報の取扱いについて

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「財団法人日本私学教育研究所 私立学校専門研修会 教育課程部会担当」宛にご郵送またはFAXにてお送りください。(申込後、2週間以内に確認証が届かない場合はお電話にてご確認ください。)
 2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送りいたします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。
 3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAXにて日本私学教育研究所へご連絡ください。(FAX送信後、確認の電話をお願いいたします。)
- 不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約1カ月かかりますので、あらかじめご承知おきください。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承ください。また、10月29日(金)15時00分以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

会場「私学会館(アルカディア市ヶ谷)のご案内



- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」A1-1出口
- 都営新宿線「市ヶ谷駅」A1-1, A4出口
- JR総武線「市ヶ谷駅」(中央線より「四ツ谷駅」または「御茶ノ水駅」にて総武線に乗り換え)

※各出口より
徒歩約2~4分

平成22年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
教育課程部会 参加申込書

平成22年__月__日

① 参加者氏名	(ふりがな)		(男) (女)
② 学 校 名		③ 職 名	
④ 学 校 住 所	〒 TEL () FAX ()		
⑤ 参加確認証送付先 ※上記の参加者ご本人、または 学校住所以外への送付を希望 する場合にご記入ください。	〒 (受取人氏名_____)		
⑥ 参加者連絡先*	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。		
⑦ メール アドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメ ールは不可）をご記入ください。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、 すでに登録されておりますので、記入の必要はございません。アドレス変更の場合はご記入ください。）</small>		
⑧ アンケート：研究協議の際のグループ分けの参考にいたします。 1. 所属する学校種（a, bは i～ivを○でお困みください。） a. (i. 中学校 ii. 高等学校 iii. 中高併設校 iv. 制度上の中高一貫教育校) b. (i. 共学校 ii. 女子校 iii. 男子校 iv. 男女別学校) 2. 担当教科 () 3. 校務分掌 () 4. 協議を希望するテーマ（できましたら2, 3テーマ）をご記入ください。 ----- ----- ----- -----			
⑨ 通信欄（研修会で取りあげたい課題・事例等がございましたら、あわせてご記入ください。）			

※郵送，FAXでお申し込みください。

※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入ください。

受付番号